

「心の唄～希望へ」アンケートから

2006年4月14日（金）18：45～20：30

新宿文化センター小ホール

ありがとうございました

「何か心に響いてきて涙が止まらなくなりました。お年寄りがとても喜ばれているというのが分かるような気がしました」／「昔を思い出し、大変幸せな気分になりました。みんなに元気を与えるコンサートでした」／「私はこの新宿が故郷です。私は今もこのまちが好き。ピュアで、甘くて、どこか諸行無常を含んだ（” 愁いを含んだ” っていうの？）、歌声に人生をふりかえりました」／「木谷さんの歌を聞くと。自分も頑張ろうと元気が出てきます。自分にはとても小さなことしかできないけれど、頑張っていきたいと思います」／「きたにさんと一緒に若かりし頃を思い出して楽しいひと時でした」（中島さん）／「これからも地域のため、ご老人福祉関係（障害のある方など）の方々にも聞かせてください」／「まず、ほんとうにびっくり致しました・・・そして、時の経過とともに、深い感動の世界に引き込まれていきました」（青山さん）／「また頑張ろうという気持ちになりました。素晴らしい歌をありがとう」／「とても心に響く歌声でした。ご自身がどう生きてこれ、今をどう生きるかを感じさせられ、そして、これからまた、更なる生き方を、心に伝わってまいりました。こんな日があったことがとても幸せです」／「いきなりの「涙そうそう」にはまいりました。ここのところ、仕事の面で人と別れ、人に傷つき、けっこう心の中がささくれ立っていたのだなあ、涙をにじませながらお聴きしました」／「すてきなお声ですネ、ファンになりました。大好きな、よく知っている曲ばかりで、とてもよかった。心が癒されたひとときでした」／「歳をとると感性がにぶくなるものです。今日は心にしみる歌を聴いて、感性がよみがえりました」（船橋市 73歳男性）／「次から次と好きな歌ばかり。本当に幸せな気分になりました。一人の人間として立ち上がった”等身大の男のすごさ”を感じました」（齋藤さん）／「元気な間は”きたにさん”の歌を聴き続けさせていただきたいと思います」（加藤さん）／「八十四歳にして初めて声をはりあげ、心をしばって歌った。”朧月夜”をはじめとする懐かしい歌のかすかずに愕然としました。自らの周囲には尚、かつての優しい、美しい自然、人情が慈しみの瞳をそのまま注いでおり、自分の気付くのを待っているように！！」（金子さん）

